



2022年11月2日

各位

会社名 ヤマハ株式会社  
代表者名 代表執行役社長 中田 卓也  
(コード番号 7951 東証プライム)  
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 杉山 啓子  
(TEL 053-460-2210)

## 2023年3月期 第2四半期(累計)業績の概要と通期業績予想について[IFRS]

### □ 第2四半期累計業績の概要 — 増収・事業利益の増益 —

2023年3月期 第2四半期の売上収益は、中国ロックダウンや半導体調達難などの影響を受けたものの、対USドルの為替レートが大幅な円安になったことから、前年同期に対し195億円(9.8%)増加の2,180億円となりました。事業利益は、材料費などのコストが上昇する中、限定的ながら為替影響の寄与もあり、前年同期に対し9億円(3.9%)増加の244億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、為替差益の計上があったものの、前年第1四半期に固定資産売却益を47億円計上したこともあり、6億円(2.9%)減少の208億円となりました。

### <事業セグメント別の売上収益・損益の状況>

#### ● 楽器事業

**売上収益 1,501億円(前年同期比 12.1%増) 事業利益 206億円(前年同期比 6.6%増)**

アコースティックピアノは、中国ロックダウンの影響などにより減収となりました。電子楽器は、ほぼ前年並みの実績となりました。ギターは中国での二桁成長が牽引し増収となりました。管弦打楽器は北米での販売が大幅に伸長したことなどから増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し163億円の増収となりました。事業利益は、13億円の増益となりました。

#### ● 音響機器事業

**売上収益 474億円(前年同期比 0.1%増) 事業利益 5億円(前年同期比 71.7%減)**

オーディオ機器と業務用音響機器は、半導体調達難による商品供給不足などにより減収となりました。ICT機器は、ほぼ前年並みの実績となりました。

セグメント全体の売上収益は、為替の影響もあり前年同期並みの実績となりました。事業利益は、為替のマイナス影響もあり12億円の減益となりました。

#### ● 部品・装置、その他の事業

**売上収益 205億円(前年同期比 18.6%増) 事業利益 34億円(前年同期比 30.5%増)**

電子デバイスとFA機器は、減収となりました。ゴルフ用品は、大幅な増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し32億円の増収となりました。事業利益は、8億円の増益となりました。

□ 2023年3月期 通期業績予想 — 為替レートの見直し等により上方修正 —

半導体調達難などによる商品供給不足の継続に加え、中国ロックダウンの長期化、エントリーモデルの需要減速などの影響があるものの、為替レートの見直し等により売上収益、事業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益を上方修正いたします。

2023年3月期の通期業績予想は、8月3日に公表した売上収益4,600億円（前期比12.7%増）、事業利益500億円（前期比16.2%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益375億円（前期比0.7%増）を、売上収益4,700億円（前期比15.1%増）、事業利益520億円（前期比20.9%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益410億円（前期比10.1%増）に修正します。

\*本予想における第3四半期以降の想定為替レートは、対USドル140円、対ユーロ140円です。

注1) 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

注2) 文章中の売上収益、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

## 2023年3月期第2四半期業績資料 &lt;IFRS&gt;

ヤマハ株式会社

2022年11月2日

## (1) 主要財務指標

	前期第2四半期実績 (‘21/4月-9月)	第2四半期実績 (‘22/4月-9月)	前期実績	当期予想	前回当期予想 (‘22/8/3発表)
	22年3月期	23年3月期	22年3月期	23年3月期	23年3月期
売上収益	1,985億円	2,180億円	4,082億円	4,700億円	4,600億円
うち国内	524億円 (26.4%)	501億円 (23.0%)	1,054億円 (25.8%)	1,061億円 (22.6%)	1,081億円 (23.5%)
うち海外	1,461億円 (73.6%)	1,679億円 (77.0%)	3,028億円 (74.2%)	3,639億円 (77.4%)	3,519億円 (76.5%)
事業利益 <sup>(*)</sup>	235億円 (11.8%)	244億円 (11.2%)	430億円 (10.5%)	520億円 (11.1%)	500億円 (10.9%)
営業利益	288億円 (14.5%)	247億円 (11.3%)	493億円 (12.1%)	525億円 (11.2%)	500億円 (10.9%)
税引前利益	295億円 (14.8%)	301億円 (13.8%)	530億円 (13.0%)	575億円 (12.2%)	520億円 (11.3%)
当期利益 <sup>(**)</sup>	214億円 (10.8%)	208億円 (9.5%)	373億円 (9.1%)	410億円 (8.7%)	375億円 (8.2%)
為替レート(決済レート) <sup>(***)</sup>	110円/US\$ 129円/EUR	132円/US\$ 134円/EUR	112円/US\$ 131円/EUR	136円/US\$ 137円/EUR	125円/US\$ 134円/EUR
ROE <sup>(***)</sup>	10.8%	9.6%	9.2%	9.4%	8.7%
ROIC <sup>(***,*)</sup>	8.4%	7.7%	7.3%	8.4%	8.2%
ROA <sup>(***)</sup>	7.7%	7.1%	6.5%	6.9%	6.3%
1株当たり利益	122.5円	121.2円	214.8円	238.9円	218.6円
設備投資額 (減価償却費)	60億円 (59億円)	66億円 (65億円)	148億円 (121億円)	256億円 (132億円)	256億円 (132億円)
研究開発費	115億円	123億円	240億円	255億円	255億円
(キャッシュフロー)					
営業活動	280億円	△ 143億円	360億円	280億円	310億円
投資活動	493億円	△ 61億円	437億円	△ 190億円	△ 210億円
フリーキャッシュフロー	773億円	△ 204億円	797億円	90億円	100億円
期末在庫高	1,031億円	1,565億円	1,186億円	1,430億円	1,310億円
(要員数)					
国内	5,696人	5,690人	5,615人	5,700人	5,700人
海外	14,388人	14,367人	14,280人	14,800人	14,800人
正社員計 <sup>(***)</sup>	20,084人	20,057人	19,895人	20,500人	20,500人
正社員外要員(期中平均)	9,041人	8,796人	8,863人	8,500人	8,600人
(事業別売上収益)					
楽器	1,338億円 (67.4%)	1,501億円 (68.8%)	2,762億円 (67.7%)	3,200億円 (68.1%)	3,150億円 (68.5%)
音響機器	474億円 (23.9%)	474億円 (21.8%)	969億円 (23.7%)	1,080億円 (23.0%)	1,050億円 (22.8%)
その他	172億円 (8.7%)	205億円 (9.4%)	351億円 (8.6%)	420億円 (8.9%)	400億円 (8.7%)
(事業別事業利益 <sup>(***)</sup> )					
楽器	193億円	206億円	373億円	440億円	430億円
音響機器	16億円	5億円	15億円	30億円	30億円
その他	26億円	34億円	42億円	50億円	40億円

## (2) 売上収益の内訳(事業別、地域別)

23年3月期 第2四半期累計実績 (‘22/4月-9月)	楽器		音響機器		その他		合計	
	売上収益	前期比 <sup>(***)</sup>	売上収益	前期比 <sup>(***)</sup>	売上収益	前期比 <sup>(***)</sup>	売上収益	前期比 <sup>(***)</sup>
日本	288億円	96%	133億円	97%	80億円	91%	501億円	96%
北米	376億円	115%	110億円	94%	39億円	112%	525億円	110%
欧州	261億円	97%	117億円	82%	1億円	44%	379億円	92%
中国	295億円	87%	33億円	81% (80%)	17億円	74%	344億円	85%
その他	282億円	105%	82億円	96%	67億円	183%	432億円	110%
合計	1,501億円	100%	474億円	91% (91%)	205億円	107%	2,180億円	98%

\*1 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

\*2 当期利益=親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益

\*3 為替レートは、利益に影響を及ぼすヤマハの輸出入決済レートを記載しています。下期為替レート US\$=140円、EUR=140円

\*4, 5, 7 ROE・ROIC・ROAは年換算値

\*6 ROIC=税引後事業利益÷(親会社の所有者に帰属する株主資本+有利子負債)

\*8 要員数=期末社員在籍数

\*9 前期比は為替を除いた実質ベースでの比較、()内はOEM向けを除いた前期比増減を表しています。

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。